

NCスポットドリル

高能率化でコストダウン

CNC旋盤、CNC複合旋盤、マシニングセンター等で使用可能。

The advertisement features a large, high-resolution image of a Yukiwa Green G1 Chuck. The chuck is a precision tool with a textured, ergonomic design. A long, tapered metal shank extends from the chuck, ending in a sharp, multi-fluted cutting tool. In the bottom right corner, there is a circular inset illustration of a smiling cartoon worker wearing a hard hat and safety glasses, holding a wrench and standing next to a piece of machinery. The background is a light, textured surface.

速くキレイに
削れる
eCOなホルダ

ツールプリセッタメーカーのアルファ・シスから
ツールホルダーテーパー部のクリーニング装置が新登場!

alfa-cleaner
アルファ クリーナー

テーパー部クリーニングのメリット

- ・付着したオイル、ゴミの除去
- ・工具の振れ精度向上による工具寿命アップ
- ・機械の主軸を保護
- ・テーパー部の精度維持

クリーニングアタッチメント
φ230×220 – 245mm
重量 9kg
BT40/BT50
HSK-A/C/E-63
HSK-A/C/E-100
Capto C6

ドライブユニット
100 – 240V AC
420×250×120mm
重量 12kg

取り扱いは非常に簡単です!
クリーニングアタッチメント上部にツールホルダを載せ2本の固定グリップでホルダを固定してスイッチONするだけ!
※動画はYoutubeで「alfa cleaner 1」で検索下さい

Cominix
大阪工機株式会社

【本社】〒542-0061 大阪市中央区安堂寺町1-6-7 TEL(06)6765-8205 FAX(06)6762-5105
【支社】東京【支店】北関東・名古屋・広島・福岡 【営業所】郡山・水戸・埼玉・横浜・岐阜・奈良・京都・東大阪・和歌山・姫路・福山
【出張所】北上・長岡・浜松東・金沢・岡山 【物流拠点】北関東ロジスティクスセンター・大阪ロジスティクスセンター
【HPアドレス】<http://www.osk-k.co.jp/> [E-mail]accweb@osk-k.co.jp

切削加工では工作機械や刃具・切削工具が重要な視されがちで、ツールホールダーは「どれを使っても同じ」という感覚で選定されているケースが多くみられる。しかし、ツールホールダーの選定によって、加工精度や生産性に大きな差が生じる。ユキワ精工の「グリーング1チャック」は従来荒加工用と仕上げ加工をツールホールダー1本で済むようにした。1回で仕上げ加工を行うことで加工時間を大幅に削減することができるよう、本ルダーの剛性を最大限に向上する構造とした。またグリーンG1チャックは加工の高速・高精度化、高能率化、経済性や環境性の向上など、日本のモノづくりに貢献する優れたデザインにしたことが高く評価され、2012年度のグッドデザイン・ものづくりデザイン賞(中小企業庁長官賞)を受賞した。

ユキワ精工

エヌティーアールの「スリムハイドロチャックPHC-S型」は細身設計の油圧チャックで、壁際など干渉のある加工に最適である。従来、干渉のある加工に採用されてきた焼きばめチャックは別途加熱装置を必要とし、高温加熱に対する安全面への配慮や、加熱・冷却のわざわしさなどの短所があつた。同社が開発した「スリムハイドロチャックPHC-S型」は、六角レンチ一本で簡単に刃物の着脱が可能。コレットホルダーのように刃物が沈み込まないため、誰でも使えるチャックに仕上がっている。同社独自の延長式チャッキングスリーブの採用と、その周辺に設けた広面積の油圧室により高い減衰性が生まれ、細身ながらビビリを抑制できるため、複雑形状部の加工・難削材の仕上げにも最適である。

近年、複合加工機やコンピューター数値制御(CNC)旋盤での高能率、高精度加工への要望が高まり、工具インター フェースとしてPSC規格の採用が増加。PSC規格は多面拘束カッブリ ングで、高い繰り返し位置精度が特徴である。タンガロイは、すでに発売しているツーリングシステム「タングホールド」に、PSC規格と互換性のある「タングキヤ

「ツッピーシリーズ」を加えることで、対応可能な工作機械の範囲をさらに拡大。タングキヤップシリ ーズには外径旋削や溝入れ工具だけでなく、コレ ットチャックホルダー や フェースミルアーバなど、回転工具用の製品も幅広くそろえている。今後PSC規格を持つ工作機械のユーザーに対しても、あらゆる加工に対応できるトータルツーリングとして提案していく。

タンガロイ

OSGの世界標準仕様、高能率超硬ドリルの新製品「WDドリルシリーズ」（特許出願中）は、新ウエーブ刃形と低心厚設計により、低トルスト、安定トルクを実現する。切りくずを細かく分断し、安定した加工が可能である。

同製品は工具径別に2種類の刃形を採用。直径4ミリ以下は、工具剛性を重視した直線刃形。直線刃形・ネガの外周すべり角で、小径でも工具剛性を確保する。直径4ミリ超えは、切れ味重視の新ウエーブ刃形を採用。ワイドな溝設計で、切りくず排出をコントロールする。スラスト抵抗を従来品に比べ平均30%ダウンさせることも可能。母材には超微粒子超硬合金、表面には摩耗抑制に大きく貢献するWD-1（ダブルディーワン）コートイングが採用されており。

フルターナー・ツーリング
・ジャパンが発売した最新のミーリング工具「B1a××

（ブラックス）」は、加工の精密さ、高い生産性、切削プロセスにおける信頼性を最高レベルで実現する。

「B1a××

ミーリングカッターフ5041/F5141」は、チップ縦付け仕様を採用した新開発の屈強な高剛性ボディーと精密なチップ取り付けにより、最大3割の送り速度向上と極めて優れた直角および壁面を同時に達成できることを同時に達成できる。

B1a××

カッタのチップには、従来と比較して最大2倍の削削能力を実現できる。ブシリーズ「タイガツク・シルバー」を化しており、最適な合合わせで高能率、高精度を担保しながら、ミーリング加工におけるラーメーターを最大限に活用することができる。

卓上型ドリル研磨機、エンドミル研磨機のホークスは直径3 $\frac{3}{4}$ インチ $16\frac{1}{2}$ リットルまでのハイス・超硬・焼き入れ鋼などを乾式で切断できる切断機「ECC-13」（希望小売価格22万円）を発売している。

エンドミルの底刃研磨装置の前の先端落とし、ドリルやタップの刃が欠けた時の切り落としなど、用途に応じてさまざま使い方が可能になつ

ている。また、ワーフラム3爪スクロールチャックでつかみワークを回るので、半径分を洋けで切断ができる。加工時間も直径10mmの超硬エンドミルで秒と短く、乾式ながら一クに対する熱の影響を最小限に抑えられる。ヨーテーブルによる位め装置、安全カバー、品収納引き出しなど、準装備されている。

ホークス